

NPO人口図鑑

Vol.04

「ちょっと気になったこと」
その先にあるNPOへの入口を人物像から
明らかにするコーナー

キーワード「私もお茶がしたかった」

まだ発達障がいという言葉もなく、行政の支援も少なかった1999年。今は自閉症と診断される2人の子どもも、当時はどんな状況で、自分に何ができるのかもわからなかった。目を離せない幼児期を越え、ようやく小学校に入学したと思った矢先、隔週週休二日制になり、大変さが押し掛かってきた。「なんかできるんじゃないか」岸田さんは特別支援学級に通う子どものお母さんたちに声をかけ、お茶を飲みながら悩みをひたすら話した。お世話になっている医師にも相談したら、自閉症や発達障がいの勉強会開催に協力してくれた。他市の先進的な取り組みや外国の制度。よさそうなものはみんなで勉強し、市民や行政に話をして回った。「いもむしのように地面をもにょもにょ這いつくばると、5年

Profile

岸田 あすかさん

NPO法人シンフォニーネット 理事長
mimi hanaカフェ オーナー

もすれば形になる」ずっと支えてくれた医師の言葉を握りしめてとにかく進んだ。

自

分たちのためと思っていたお茶会は、大学生の協力のおかげで子どもたちが楽しみにするようになった。講演会などの啓発活動は応援者を生み、行政では制度化が進んだ。取り組んだ事業は今では行政のサービスになっているものも多い。子どもの成長とともに見えてきた課題に取り組み、今は障がい者の就労訓練として、山口県下関市でカフェを運営している。「周りのお母さんたちがしていることを私もしたかっただけなんです」彼女のNPOの入口は、当り前の感情の中にあった。

日常から非日常へ

完成したツリーハウスに案内してもらった。人工の音がなくなりあぜ道から田んぼ、山へ。歩きながら日常から非日常へと気持ち移っていく。見上げると先ほど来た道とは反対側の斜面に小屋が見える。ここからだとも4階建の建物くらいの高さに位置しているのがわかる。

「まず、ここから見てもらうんです。ここまで車も入れるんですけど、歩いて来るのがおすすめです」と谷口さん。

下から見上げたあとでツリーハウスに登ると、その価値が何倍にも感じられる。宗像にこんなところがあったのかとワクワクする。ツリーハウスは子どもの時のような感覚を思い出させてくれた。ワクワクした気持ちは人との距離を近づけていく。月に一度のプロジェクトなのに、メンバー同士もどんどん近くなっていく。そんな中、メンバーから結婚

の報告があった。仲間で図面をひき、それを元に2人の人形が乗った可愛いケーキが出来上がった。



ツリーハウスのその先に

このプロジェクトをきっかけに、様々なイベントで宗像に人が集まり、新しいつながりが増えていく。想像以上に人の輪が広がった。

ツリーハウスプロジェクトは、春から始まる7,200坪の里山を活かしたフォレストガーデンプロジェクトに進化をして、「自然から学び自然で遊ぶおもしろさ」をさらに掘り起こしていく。ワクワクした気持ちこそ大人に必要なもの。新しいプロジェクトもまた、この世界がロマンに満ちていることを教えてくれる。

この世界には
ロマンがある

イベント告知

本の屋台を囲んで
ピクニック！

目からの
うろこ！

NPO法人あすも特注旅行班

NPOで
働いて社会を
変える。

最終回 [コラムVol.04] ツリーハウスをつくるその先に…

¥0
TAKE FREE

NPO
豆知識

「NPO」を
仕事にする。

▼その道のプロが
薦めるこの一冊！
▼NPO人口図鑑

この場所で
ツリーハウスをつくる。
その先に…

OUR TREE
HOUSE
PROJECT

Column
Vol.04

最終回

2015年秋から一年かけて、自然あふれる牧歌的な田舎の村にツリーハウスを作るプロジェクト。ツリーハウスを作りたい人が集まり、ハウスだけではなく石窯やコンポストトイレなども作る。どうやって自然を楽しむかは参加者次第。月一回土日に開催し、20～40代までの参加者が自然を楽しんでいる。



プロジェクトプロデューサー

谷口 竜平さん

僕らのツリーハウスプロジェクト
outtreehouseproject.com

¥0 TAKE FREE



むなかた市民フォーラム





NPO法人あすも特注旅行班 NPOで働いて社会を変える。

障がいや病気がある人向けに、看護師や理学療法士が付き添うオーダーメイドの旅行を実現するNPO法人あすも特注旅行班。病院勤務の中で遭遇した患者さんの声。病院という大きな組織では成しえなかった取り組みに、NPOのフィールドでチャレンジする。

できたらいいなを実現する

「病」気が障がいを抱えているため、旅行したいけどできない」そんな患者さんの希望を実現するのがNPO法人あすも特注旅行班だ。2014年に設立し、3年間で多くの期待に応えてきた。そんなあすもを運営するのは2人の職員。代表の大橋日出男さんと、理事の大関純平さんだ。

あすもが生まれるまで

大橋さんは15年間、九州大学病院の看護師として仕事をしてきた。その中でふれたのが「旅をしたい」と願う患者さんの思いだった。「なんとかして患者さんの希望を叶えることができないだろうか」そうは思いつつも、病院という大きな組織の中で、一職員が患者さんを連れて旅行することは簡単に実現できるものではなかった。

悶々としていたときに知ったのが、いち早く介護付き旅行を実現していたNPO法人しゃらく。その存在を知った大橋さんは「すぐさま神戸へ出向きました。スタッフの方からは、福岡で実施するならサポートすると言っていただきました」。その声が背中を押し、自ら事業を立ち上げることを決意。病院での勤務を続けながら、事業の実施に必要な旅行業の資格を1年かけて取得。退職後、NPO法人しゃらくで2ヶ月半のインター

ンシップを通じて、ノウハウや知識を学んだ後、NPO法人化の準備へ。そんな時に出会った青年が大関さんだった。

やりたいことを口に出す

大関さんはスポーツに関わる仕事がしたいと長崎の専門学校で理学療法士の資格を取得し、その後は久留米の病院に就職。リハビリの現場で働いていた時に印象に残ったのが、笑顔で旅行の思い出話をする患者さんたちだった。患者さんの中には落ち込んでいる人が多くいました。昨日まで健康だった人が、病気や事故で突然歩行が困難になるなど現実を受け入れることが難しい。しかし、そんな患者さんたちも旅行の思い出を話すときは笑顔になっていました」。心をふさいでしまった患者さんたちに、もう一度楽しい思い出を作ってあげることができないだろうか。そんなサービスがないかを調べたところ、ヒットしたのが福島に拠点を置くボランティア団体。「同行させてほしいとお願いしたら、サイパンまで一緒に連れていってもらうことになりました(笑)」この経験を経て、患者さんのために同じようなことができないだろうかと思うも、組織の壁があり、病院では実現することはできなかった。

自分にできることを見つめなおすため、病院を退職し、9ヶ月間アジア各国へ。帰国後、同じようなことを実現しようと

■アウトプットの力を高める

あすもの取り組みで特徴的なのは毎日の朝礼だ。月曜から金曜まで毎日15分、それぞれ異なるテーマを決めている。

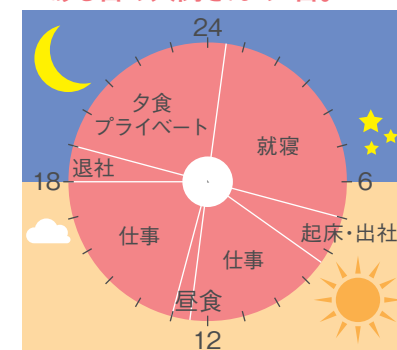
朝礼 8:45~9:00	
月曜日	法人理念の読み上げ
火曜日	歴史の勉強会
水曜日	スピーチ(テーマ指定)
木曜日	スピーチ(自由テーマ)
金曜日	そうじ

ている人がいると紹介を受け、大橋さんと会うことになる。「やりたいことを口に出していたからこそ、出会いがあったんだと思います」その後、大橋さんの想いに共感し、「あすも特注旅行班」の職員として働くことに。

社会を変えるワクワク感

正職員として関わり3年が経過した大関さん。これまでの病院勤務と比較して、働くことの意義や周囲の環境にも変化が現れたという。「社会という大きな枠組みの中で自分が必要とされていることを感じられるようになりました。今の仕事には、もしかしたら社会を変えられるかもしれないというワクワク感があります」。大きな組織とは違い、新しい取り組みに着手できるなどの自由度も感じているという。その他には「まと

■ある日の大関さんの1日。



代表理事 兼 職員

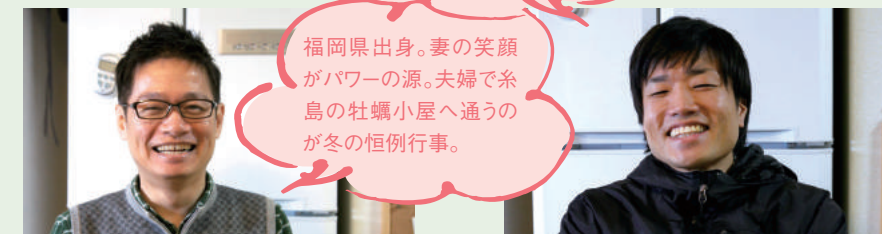
おおはし ひ で お
大橋 日出男さん

沖縄県出身。飾らない笑顔がトレードマーク。焼肉とピーマンが大好物。

理事 兼 職員

おおぜき じゅんぺい
大関 純平さん

福岡県出身。妻の笑顔がパワーの源。夫婦で糸島の牡蠣小屋へ通うのが冬の恒例行事。



まった休みをとりやすくなりました。拘束時間も柔軟になり、プライベートに使える時間も増えたと思います」幅広い世代や職種の人たちとのつながりも増え、人間関係も充実してきているという。

さらなるステップを目指して

創業から2人で営んできた団体に、今年1月には新たなパートスタッフが加わった。また、創業から3年を迎えて徐々に収益も改善し、今期は黒字への転換にも成功した。「設立当初は否定的な声もあったりと、事業もなかなか軌道に乗りませんでしたが、地道に活動を続けたことが今につながっていると思います。10年後にはスタッフをさらに3人増やしたい」と大橋さん。病気や障がいがあっても旅行や外出を楽しめる世の中になるように、「明日も」あすも特注旅行班は邁進する。

タチバナくん、今回の取材も勉強になりましたか？

わかったばい！



いちご狩りで満面の笑みの大橋さん



お花畑でハイチーズ！



常に笑顔で接する大関さん

NPO法人あすも特注旅行班／お問合せ先
住所：福岡市西区姪浜駅南2丁目26-10-506
TEL：092-980-1235
WEB：http://asumo.fukuoka.jp/